

**製品名: ErbB2 (HER2) (4J7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10568**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.33mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	138kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ERBB2
別名	C-erbB-2; ErbB2; HER2, MLN 19; NEU; NEU proto-oncogene; NGL; Receptor protein-tyrosine kinase erbB-2;
遺伝子 ID	2064.0
SwissProt ID	P04626
免疫原	ヒト ErbB 2 の合成ペプチド

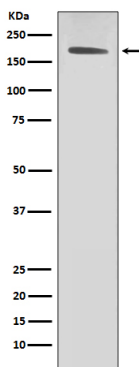
## 背景

この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼの上皮成長因子 (EGF) 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は独自のリガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合できません。しかし、リガンド結合した他の EGF 受容体ファミリーのメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化し、マイトジェン活性化プロテインキナーゼやホスファチジルイノシトール 3 キナーゼなどの下流シグナル伝達経路のキナーゼ媒介活性化を促進します。いくつかの細胞表面受容体複合体の一部であるタンパク質チロシンキナーゼですが、リガンド結合には共受容体が必要であるようです。ニューレグリン受容体複合体の必須成分ですが、ニューレグリンは単独では相互作用しません。GP30 はこの受容体の潜在的なリガンドです。末梢微小管 (MT) の伸長と安定化を制御します。ERBB2 が活性化されると、MEMO1-RHOA-DIAPH1 シグナル伝達経路が細胞膜上の GSK3B のリン酸化を誘導し、その結果阻害が起こります。これにより APC と CLASP2 のリン酸化が阻害され、細胞膜への結合が可能になります。そして、膜結合型 APC は、微小管の捕捉と安定化に必要な MACF1 の細胞膜への局在を可能にします。

## 研究分野

癌

## 画像データ



SKBR-3 細胞溶解物中の ErbB2 (HER2) 発現のウェスタン ブロット解析。